

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			フローリングスペースではダンスや音楽療法など身体を動かして表現する活動にも取り組めるよう広くスペースがとってあります。また、モンテッソーリの時間は個別にじっくり取り組めるよう、和室等の落ち着いた空間も設置されています。
	② 職員の配置数は適切か	○			児童発達管理責任者、児童指導員、福祉サービス経験者を配置しており、お子さんに寄り添う支援を目指しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関からフルフラットになっており、車椅子の方も利用げきる広い障害者トイレも設置されてます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			指導員同士で、利用者さんとの関わりなどを話す機会を意識的に設けています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			自己評価表の活用や、普段の連絡ノートのやり取り、送迎時のコミュニケーションなど普段から意識しておりますが、保護者の方との関係がさらに深められるよう努力していきたいと思います。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会報と社会福祉法人1980のホームページに載せさせていただきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は受けておりません。
	⑧ 職員の資質向上を行うため、研修の機会を確保しているか	○			名古屋市や社会福祉協議会主催の研修等に参加させていただいています。また、職員同士やモンテッソーリの先生からのご指導を受けています。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリング時に前回のアセスメントからの変更点や、最近のご家庭での様子を伺わせていただいております。日々成長されていく、お子さんをご家庭と放課後等デイサービスで共有していきたいと思っております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			NCプログラムや太田ステージなどを活用し、お子さんの発達段階の参考にしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月間プログラムや活動プログラムを主任保育士を中心に話し合いを行いながら立案しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各プログラムの中で、お子さんの状況に合わせて取り組む課題を設定しております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は利用頻度に応じて、平日取り組めない課題を設定（外出マナーや菜園等）しております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動では、おともだちとの関わりや集団生活のルールを学べるよう計画を立てています。また、音楽療法やモンテッソーリ等、個別に課題を設定して取り組む計画も立てております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	○			プログラムの確認、役割の確認、狙い等を職員間で支援前に行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			主任保育士を中心に、各担当者の様子や職員が悩んだことなどを確認し、毎日日誌に記録するようにしている。	

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ひとりひとりの活動の様子を日誌に記録し、児発管が確認し、定期的を開催する会議にて議題としている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、会議にて職員間で話し合い、達成・継続・計画の変更の必要性を判断してます。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			身辺自立をふくめ、お子さんの自立を目指した関わりを行っております。また、将来、お子さんが余暇を楽しめるよう、楽しく取り組める活動が増える様取り組んでおります。また、公園や公共施設を利用し、社会のマナーを学ぶ機会を大切にしております。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議への出席のご依頼があれば、ふさわしい者が参加できるよう調整いたします。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時に担任の先生と情報共有に努めてます。また、先生方はお忙しいので、保護者の方から学校の情報を提供していただけてます。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	該当事例なし
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			小学部のご利用者さまより利用希望がございましたら、就学前利用施設との情報共有を積極的に行います。

関係機関 や保護者 との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか		○	今年初めて遊より高等部卒業生を送らせていただきました。事業所様よりご依頼がございましたら、ご家族の同意を得て、支援計画等を情報提供させていただきます。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	必要時には積極的に相談させていただいております。
	②6	放火後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	クリスマス会など季節の行事に障害のない子どもと一緒に活動する機会を設けております。また、遊周辺で地域の子どもたちが遊んでいるので、今後地域との交流を模索していきたいと考えております。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	昨年度は、職員の異動等あり、協議会へ参加することができませんでした。来年度からは、積極的に参加していきます。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	連絡帳にて様子を共有したり、ご家庭での様子を教えていただき、お子さんの状況を共有できるよう努めております。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	事業所内研修等で相談援助の技術を学ぶ機会を設けています。技術よりも、保護者の方の気持ちに寄り添う支援をこころがけております。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	契約時に重要事項説明書を用いて、利用者負担や遊のご利用方法を説明させていただいております。また、随時不明な点は児発管に電話等でお尋ねいただいております。
③1	保護者からの子育ての悩み用に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者の方が相談に乗っていただきたいと思っただけできるよう、職員が経験を積んでまいりたいと思います。	

保護者への説明責任等

③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会など、保護者の方が連携する機会は現在ございません。今後、参観日や遠足などの行事の機会を設定し、保護者の方が顔を合わせる機会を設けられたらと思います。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口、苦情解決責任者を設置し、苦情対応規程に則り、対応させていただいております。また、記録も整備してあります。大きな苦情に発展するまえに、保護者の方と日々連絡調整できるよう努めます。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「はじめのいっば」という季刊誌を年3回発行させていただいております。お子さんの活動の様子などをお伝えさせていただいております。また、HPでも活動の様子を発信させていただいております。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			事業所内研修等で、従業者に徹底しております。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障害のあるお子さんには、その子にあったコミュニケーション方法を模索しております。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			学生ボランティアさん等地域のボランティアさんが、子どもたちのために行事を企画してくださりそこに、参加して交流しております。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアル等を作成し、職員間では周知しておりました。今後保護者の方への周知を図りたいと思います。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、火事・地震・不審者などテーマを決めて、避難訓練を行っております。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年法人内研修にて、虐待防止のための研修の機会を確保しています。

非常時等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、身体拘束を必要とするお子さんのご利用がございません。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、対象とするお子さんのご利用がございません。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例集を作成し、いつでも閲覧できる場所に置いてあります。